

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：月坂自治会

開催場所：月坂一丁目公会堂

開催日時：平成 29 年 1 月 11 日（水）18 時 57 分～20 時 45 分

参加者：自治会側【地域住民の方 37 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、今村こども未来部長、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、小玉初倉公民館長】

内 容

① 平野自治会長あいさつ

- ・寒くなったが大勢に来ていただいてありがたい。
- ・車座トークも島田市全体で約 10 を残すのみとなったが、今年ここがスタートと聞いている。これから初倉地区をまわっていくようだが、今日は初倉地区のトップをきって市長と語る会を開催する。
- ・皆さん普段思っていることを発表、質問して実りの多い会になればと思う。

② 市長からの市政報告

■はじめに

- ・車座トークは一昨年 12 月にスタート。68 自治会のうち 55 地区が終了。本日、初倉地域の第 1 回目を月坂で開催する。地元に戻るという気持ち。
- ・島田も広い、行く先々で何う話も全然違う。金谷も川根も端から端で違う。初倉も同じだと思う。
- ・皆さんから地域の課題や特色を聞き、平成 28 年 29 年度の 2 年で平成 30 年度からの第 2 次島田市総合計画をつくる予定。そのためにも、地域をまわって皆さんの声を聞きたい。

■月坂自治会の人口、世帯について

- ・月坂自治会の昨年 12 月 31 日現在の世帯数は 465 世帯、人口は 1,218 人で、高齢者人口（65 歳以上）は 436 人、高齢化率は 35.8%となっている。市の平均が 29.6%なので 5 ポイント高い。15 歳以下の人口は 145 人で、人口に占める割合は 11.9%となっている。市の平均は 13.7%だが、初倉地域全体では子どもの数は増えている。

■これからの行政のあり方、地域の抱える課題への取り組みについて

- ・島田に限らず、日本中で今一番課題となっていることは人口減少。少子化超高齢社会。
- ・産まれてくる子どもの数は、1975年から減り続けてきた。一方、平均寿命が延び、全体の人口が増えることで見えなくなってきた。
- ・3年に消滅可能性都市という言葉が出てきたが、若者が住んでいない地域は40年後に消滅する可能性がある。全国約1,700の自治体のうち896自治体が、40年後には無くなっているかもしれないというレポートがある。静岡県35市町のうち11市町が、40年後には無いかもしれないと発表された。川根本町もその一つ。その危機感は大きく、川根高校に県外から来てもらう寄宿舎をつくり、公営で塾を実施しようとしている。それができるのは川根本町に塾が無いから、島田は民営圧迫となるのでできない。
- ・子どもを産み育てやすい地域をつくっていくことは大事だが、一方で人口減少、高齢者が多くなる社会に適応した行政をしていかなければならない。
- ・現在、働いて税金を納めてくれる人が約6割強。2040年頃には約5割となる。2010年と2020年を比較すると、税収が約8億5千万円減る試算。
- ・島田市と金谷町が合併し10年間は両市町の地方交付税が貰えたが、段階的に減らされ、1つの市の地方交付税となるのが平成32年。地方交付税が約12億円減る。人口減少分と合わせ約20億円の収入減の時代になる。それを補う稼ぐ力を養い、国県から交付金や補助金を得られる事業を実施することも必要。
- ・高度成長期は色々造ってもやってこれた。働く人が多く、皆、今日より明日は生活が良くなると思っていた。一生懸命働けばクビになることもなく、家も建て、子どもを大学に入れ、老後の蓄えもできる時代だった。今や一生懸命働いても非正規雇用では結婚を躊躇い、子どもを産むのも大変という時代となった。
- ・明日は今日より良くなる時は、将来の人にも負担してもらうことで色々なものを造ってこれた。
- ・将来の人も使う市役所や病院を造るための世代間の公平な負担は必要。しかし、賢く選んで賢く使わないと、将来の島田の若者のための財源を保持することはできない。
- ・超高齢社会であるため、医療・介護・福祉にお金がかかる。平成28年度一般会計に占める医療・介護・福祉の扶助費が33%。その前まで3割未満だった。3%増が10億円以上のお金になる。医療・介護・福祉・子育てにお金をかけなければならない。
- ・高度成長期にできた公共施設・橋・道路を、一斉に更新しなければならない時期を迎える。島田は、276施設663棟の建物を所有している。今後40年維持・更新・管理をするだけで2,515億円が必要とされている。長寿命化しても約1,828億円が必要と試算されている。今後40年間に公共施設を約20%カットし、統廃合や1つの建物に色々な機能を加えていくことになる。その1つが「くらら」に正規職員を配置したこと。貸館としての社会教育施設だけでなく、行政と繋がる窓口として職員を初倉公民館に置いて、ダイレクトに皆さんの要望が役所に繋がるようにしている。
- ・今まで面的に広がってきたまちが、ダウンサイジングしながら機能を高めていかないと、豊かに、安心して暮らすまちにならない。
- ・右肩上がりの時代と違う行政の手法や発想、企画が問われる時代となった。行政の形も、やり方もこれまでと違う発想でやっていかないと、過去の経験の中だけで解決策を探ろうとしても難しい時代になった。
- ・厳しい話をしてきたが、島田が豊かになり、皆さんが安心して島田を選んでもらうために何をしたらよいかがこのからの課題。

- ・今までのように行政に任せておけばやってくれる時代ではなくなってきた。地域課題を自分達も一緒に解決していく「協働のまちづくり」を進める必要がある。
- ・一例として、六合（道悦地区）では、高齢者が1時間500円のサービス券を買って、地域の方にお手伝いしていただいたときに券を渡す仕組みを実施している。地域の中で助け合っている。
- ・湯日では、高齢者が放課後の子ども達を公民館で見たり、ボランティアが初倉南小学校の放課後児童クラブまで送ったりしている。
- ・北部（川根・神座等）で検討してもらっているのは、市がワゴン車と保険とガソリンを負担するので、地域で路線と運転手を決めてくれればバスの代わりになるというもの。ボランティアが難しいなら人件費の負担も検討している。
- ・コミバスは年間2億4千万円の経費がかかっている。調査したところ、主に使っているのは人口10万人のうち約3,800人。残りの人は年数回しか利用していない。一人当たり年間7万円の経費が必要だった。公共交通のあり方を考え、皆で使い勝手のよいものにしていかないとならない。
- ・防災で地域力を活かすことを始めたところもある。
- ・月坂では、カネハチさんが宅配を始めた。電話で届けてくれるのはありがたい。こうした取り組みは中山間地にも入っていくと思う。
- ・元より島田は住みやすい場所で定評がある。親切な人が多い。静岡に向う電車で島田駅発が、午前中で19便ある。通勤で座りたい人に有利。
- ・離婚率が県内一低い。軽犯罪が少ない。持ち家率が県内2位。様々な条件を見ても島田は住みやすいところ。勤める場所が近隣にあれば、ここに根を張って子育てをする若い方が増えてくる。そのようなまちづくりをしていかなければならない。

■最終処分場について

- ・最終処分場は、平成29年3月31日で閉鎖することにした。
- ・がれき受け入れからの経過は皆さんご存知のとおり。平成27年7月に静岡地裁から地権者勝訴、市が敗訴の裁判結果が出た。
- ・地権者の半数が裁判に訴え、半分が賛成してくれた。反対者の全員が、今反対しているわけではない。
- ・しかし、全部の意見が揃わないと4月以降も使い続ける県許可が得られないため、難しいと判断した。当面、田代環境プラザの熔融炉で焼いた灰は、県外または民間業者に引き取ってもらうことにした。
- ・最終処分場をすぐに閉鎖できないため、3万㎡の土を入れ、地権者に返せるように整地する。
- ・安心してほしいが、埋めたところまで全部掘り返して放射線量を測った。その結果は、市内から出るゴミと同等またはそれ以下の数値だった。
- ・それでも不安に思う人がいるので、放射線を遮るゼオライトシートで埋めたところを囲った。
- ・水質検査、空気線量を毎月測って地権者に通知し、市のホームページ等で公開している。
- ・危ないものを埋めたことはないと思っている。しかし、地元説明を十分にする前に受け入れたことが拗れた一因と思っている。
- ・最終処分場が使えなくなって、しばらくの間、外出しをしなければならなくなったことを伝えなければならぬと思う。

- ・市内で適地があれば、市内に最終処分場をつくることもあり得るが、今のところ適地が見つからない状況。

■初倉周辺の基盤整備について

- ・平成 29 年にかけて、初倉では谷口中河線、色尾大柳線の道路を整備している。
- ・南原から坂部に下りる空港アクセス道路が、平成 31 年頃に完成予定で用地交渉や測量をおこなっている。平成 29 年度頃から工事に入っていくと思う。
- ・東西南北に走る道路が整備され、初倉の道路状況が良くなる。
- ・JR を使うときは六合駅だと思うが、平成 28 年度にトイレを新しくする計画。
- ・平成 29 年度以降も、ロータリーや六合駅南の再整備を計画しており、車を止めやすく、雨に濡れずに駅舎に入れるようになることを考えている。
- ・初倉にも働く場所をつくりたい。計画では東中瀬工業団地を造りたいが、地権者の同意が全部取れるわけではない中で、全体ができないなら部分的にできないかと思っている。進出して来たい会社は有る。早く工場誘致ができる形で雇用が生れるとよいと思う。

■金中跡地の開発について

- ・一昨年アイデアコンペを実施し、昨年は有識者会議を開催して事業方針等が出てきている。
- ・今、全国にマーケットサウンディングの形で、跡地を見に来てもらい、使いたい民間事業者の公募をしている。その中で選りすぐったものを交渉し、現実的には民間を誘致したいと思っている。
- ・民間だけというわけにはいかないの、県の公共的機能も入れていかなければならないと思う。

■新病院の建設について

- ・病院は平成 19 年頃には建築計画があった。紆余曲折するなかで 10 年も動かなかった。
- ・病院は築 35 年目になり、建物も傷んでいる。病院の建設は待ったなしと思っている。
- ・基本設計が終わり、詳細設計が始まろうとしている。
- ・平成 30 年から工事が始まり、平成 32 年度に新病院が完成し、引越後に今の病院を壊して駐車場を整備していく計画。
- ・来月には細かい積算ができると思う。基本計画では 247 億円を示したが、それより低く抑えられる段階まできている。

■市役所の周辺整備について

- ・病院の建設費用が見えてきたので、次は市役所。市役所も築 54 年目。老朽化が進み、職員も入りきらない。
- ・市民会館も県内いち早くでき、素晴らしい市民会館だったが、早くできたということは早くダメになるということ。

- ・今、更地になっているが2月末には舗装が完了し、3月には広い駐車場・イベント広場・帯桜ガーデンとなる。中心市街地の避難地にも使える。
- ・記者会見で発表し新聞にも掲載されたが、今月中に、市役所・市民会館・プラザおおるり・北側の職員駐車場・中央小公園（一体として3万4千㎡）をどのように活用するのか検討する組織を立ち上げたい。
- ・病院、市役所と50年に一度の事業が重なってしまった。この切り返しのために、この4年間方向転換して締めるところは締め、病院や次の事業への準備段階とした。この2年間で約17億円の起債（借金）を減らし、貯金は約20億円増やした。基金125億円が準備できている。
- ・10年先の島田のために、今何を選択するのが市長の仕事。自分の任期のときだけ考えれば良い時代は過ぎた。10年先は病院が新しく、医療機器も最新で、志太地域で頼りにされると思う。

■新東名島田金谷インターチェンジ周辺の開発について

- ・新東名金谷インター周辺は84haの農振除外に向けてやっている。これが完了すれば、大規模な企業誘致、国道473号と新東名が交わるところに賑わい交流拠点、大鉄の新駅、島田市も新東名の下に大規模な駐車場をつくりたいと思っている。
- ・様々な事業が動き出すことで、新たな動きを見せるまちになる。

■みどり幼稚園の跡地利用について

- ・初倉にとっては常に課題になっている。自治会の皆さんには草刈等でお世話になっている。
- ・どのように使うか、初倉の皆さんの想いや希望を聞いて話をしている。地元から、道の駅機能という話もあった。
- ・広域消防となって吉田町や牧之原市も初倉の消防署が見るため、消防署の移転を考えたが、初倉消防署は耐震補強が完了しており、今のまま使うことになった。
- ・例えば、農協の初倉支店を一つにまとめる、初倉郵便局も広い所に出るという考え方もある。
- ・跡地を何に使うのか決めていない。道の駅では、同じ機能が金谷中学校跡地にできるとどうかと思う。

■消防の広域化について

- ・静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町で広域消防を組織した。
- ・それ以前に藤枝市と焼津市で志太広域消防を組織していた。島田が入るには機能を大きなものに更新しなければならなかったためできなかった。
- ・静岡市と一緒にすることで、同じ経費で人員を増やすことができる。緊急通報の通信室はどの市町にも必要だったが、現在は静岡市ですべて対応している。余った人員を救急や消防に振り向けることができる。
- ・化学火災や山林火災等の特殊な災害に適応できる機材や人材を育てられる。消防ヘリコプターも持つことができる。広域のメリットを活かし地域の安全

を守る。

- ・昨年、初倉で同じ時間帯に複数の火災があったが、吉田町や牧之原市から応援が来た。広域のメリットを活かした。吉田町等に火災があれば、こちらからも出動する。

■県道（住吉金谷線）の震動、舗装及び制限速度について

- ・常に月坂地区から道路の振動について話が出てくる。
- ・汚水のマンホールの位置が原因とも聞いているが、都市基盤部で確認したところ、マンホールが原因ではなく地域の地盤が問題。地盤が良くないところに大型車が通ることが原因ではないか。
- ・平成 27 年度、マンホールに近接する 10 世帯に振動状況の聞き取り調査をした。マンホールが原因による振動という指摘は無かった。
- ・マンホールの移設は、費用がかかるため難しいと考えている。
- ・マンホールと道路の間の段差は振動の原因となるため対応する。県道であるため、管理者は島田土木事務所になる。市から県に話をする。
- ・平成 29 年度に向けて舗装等の予算措置の要望を県にしているが、まだ確定していない。
- ・島田が管理する市道 1,154 km、1,140 橋を維持・点検・整備するため、優先順位をつけて実施している状況。
- ・島田土木事務所も管内全体の状況を見て緊急度の高いものから実施しているとのこと。
- ・県道住吉金谷線の信号機（月坂一丁目 6 番付近）から 100m 舗装した。そこから西側 100m が未舗装なので早く舗装してほしいとする話を聞いた。県に要望しているが返事がない。
- ・制限速度 40 km が 50 km になったが、40 km に戻してほしい希望も地元から出ていると聞いた。調べたところ、要望については島田警察署を通して静岡県警に上げている。島田市役所は平成 28 年 6 月 16 日付けで提出している。各警察署からの要望に対して県警が回答するのが毎年 3 月頃。今年 3 月頃には回答が届くと思う。回答を受け取り次第、自治会長に連絡する。

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■道路の舗装について</p> <p>道路の振動について、一昨年も要望書を出した。県土木事務所と話をした。今年度 120m だけ舗装したが約 100m 未舗装で残った。予算が付きつつあると聞いた。来年度期待している状況。</p> <p>空港に行く車が少なく、トンネルを通る車が多いと県から聞いたが、</p>	<p>●道路の舗装が残っているが途中まで実施している。事業は新規に実施するのが難しいが、継続しているものは数年かかるかもしれないが実施すると思われる。次年度以降予算が付いていくものと考えているので、市からも島田土木事務所に要望を重ねていきたい。</p>

	<p>そのようなことはない。空港があるから会社ができ交通量が増えたので何とかしてくれないと困る。少なくとも月坂一丁目の端まで舗装されることを期待している。</p>	
2	<p>■交通指導員の報酬について 生活安心課から、交通指導員の推薦依頼が来ている。市の非常勤の特別職だが、お願いしても受けてくれる方がいない。特別職で月 6,500 円の報酬は安過ぎないか。この金額では頼みにくいので検討してほしい。</p>	<p>●交通指導員の成り手が少ないなか、月 6,500 円はどうかと思うので検討をさせていただく。【検討事項 1】</p>
3	<p>■湯日川のリバーフレンドシップについて 月坂二丁目は既に締結している。今年度、月坂一丁目のリバーフレンドシップの申請をしている。まだ回答が来ていないが、他の町内会とは締結した報道がされている。どうなっているのか。地域住民が綺麗に保ち、自慢できる河川。</p>	<p>●現在、申請の処理をしている。平成 29 年度に月坂一丁目と協定を締結する準備を進めている段階である。途中経過が伝わっていかなくて申し訳ないと思う。</p>
4-1	<p>■高齢者の税金について 個人別の支払額は、どのように算出しているのか。 納入方法が 12 月に 2 回支払うようになっている理由はあるのか。</p>	<p>●年金額により非課税の人もいる。収入に応じて課税される人もいる。 税金も年 1 回納める人もいる。税額が高額なので年に数回に分けて納める人もいる。12 月に 2 回重なることについての事情はわからない。</p>
4-2	<p>■少し前の時期にできないか。年末に集中するのは大変。</p>	<p>●税金の算出について、前年の収入が確定してから一人ひとりの税額を計算するのに時間がかかる。年度当初から順番にはいかない。固定資産税は 5, 7, 9, 12 月。住民税は 6 月以降の偶数月だと思う。年金が出る時介護保険料が引かれ、国保がある。</p>
5-1	<p>■パワーリハビリ事業について 昨年 10 月、金谷に 6 台の機器が導入された。プラザおおる、金谷の 2 箇所を導入されたが、今後の見通しについて聞きたい。</p>	<p>●機械一式 600 万円以上する。 プラザおおる 1 階に置き、シニア元気アップサポーター養成講座を実施しており、男性高齢者の利用率が高い。一度利用した方が、初めての方を指導している。 平成 28 年度、金谷に導入した。今後も増やしていく方向であるが、金額が大きいのので毎年増やせるかどうか。 初めて導入したときは国の補助があった。効果があるので厚労省に補助金の交渉をしたが、ハード整備をしても埃を被って使っていない自治体が</p>

		<p>全国に多いことから、国はハード整備には補助を出さない方針。全部市の予算でやらなければならないため時間がかかったが、金谷に入れた。元気で長生きしていただくことが一番大事なので、そのための予算として機器は今後も入れていく方向性を持っている。今年度、どの場所に導入するという話はやらない。</p>
5-2	<p>■全国に埃を被っている機器があるという話だったが、それを貰って導入することが可能ではないか。 機器が有効という島田市のモデルケースを発信できれば、普及の一助になると思う。</p>	<p>●厚労省に行くとき、利用者の写真、受講者数や成果のデータも持参したが、ハード整備には補助金を出さないと言われた。実際、埃を被っているところがあるとも言われた。他の市町の機器を貰うことは難しい。</p>
5-3	<p>■次回は、初倉公民館に設置してほしい。</p>	<p>●わかりました。</p>
6-1	<p>■運動施設の設置について ローズアリーナは色々な運動ができるが、初倉地区から行くには時間がかかる。テニスや卓球等の運動をする総合的な施設があればと思っている。予算はかかるが、初倉にも施設を造ることを考えてほしい。</p>	<p>●中央体育館はローズアリーナしかないが、河川敷等を含めればグラウンドゴルフ場は、大体どの自治会も専用場所を持つのも島田の特長。 卓球については、初倉公民館に卓球台を置けばできるかもしれない。要望に応じて整備することは可能と思う。児童センターには卓球台があり、子どもが使っている。ただし、スポーツで実施する場合は広い面積が必要。テニスコート等について不足していると言われているものがあるので今後の課題。</p>
6-2	<p>■みどり幼稚園の跡地が利用できればと感じている。</p>	<p>●ご意見ありがとうございます。</p>
7-1	<p>■島田市と吉田町の境界について 島田市と吉田町が入り組んでいる場所（井口）は、住民がそのような意見を持ってやっているのか。改善することは考えていないのか。</p>	<p>●行政区域境についての（見直しの）話は無い。土地の問題だけでなく、学校や自治会、近所付き合い等に影響があるので難しい。線を引き直して、井口の人が吉田町の人になるというのは難しい。</p>
7-2	<p>■企業が島田に入れば潤うと思う。（境界には）企業も多い。</p>	<p>●補助金を出して企業誘致をしている。</p>
8	<p>■県道の振動について 県道 230 号線沿線に住んでいるが、マンホールの蓋周りが磨り減り残ってしまう。10 cm位の表層を削っても多少マシになるが、数ヶ月すると振動を感じている。</p>	<p>●地下に埋められているマンホールの位置が問題だという地元意見があり、調べた結果そうではない。地盤の問題。地盤が弱いところに大型車が通ることで振動が生じている。 マンホール蓋と舗装面の段差ができると揺れる原因となるため、市から県に依頼して速やかに処置をしていきたい。</p>

9-1	<p>■制限速度について 県道の制限速度が、40 kmから知らないうちに 50 kmになった。昨年6月にお願いして、今年3月に静岡県警から回答があるとされたが、回答を早くしてもらえないか。1ヶ月位以内にできないものか。そうすれば道の痛みも減るのではないか。40 kmが 50 kmになったことについて、自治会への相談が無かったと聞いているが本当か。今後、他の道路も制限速度の変更は実勢速度に合わせるようになると思うが、自治会に話をする仕組みにしてほしい。</p>	<p>●制限速度も信号機設置も警察から行政に相談が無い。直接皆さんから聞いて初めて知ることがある。警察は基準無しに制限速度を変えないと思う。何らかの基準に則り 40 kmが 50 kmになったと思う。</p>
9-2	<p>■50 kmになった翌日、両町内会長に「実勢速度の状況を見て変えた」と報告があった。 制限速度と実勢速度との乖離が 20 km以上ある場合には、制限速度を実勢速度に合わせるように国から警察に通達があった。それに基づき、県道の制限速度は 40 kmだが、実際の速度 60 kmのスピードが出ているので、実勢速度に近づけると説明された。警察は、地盤や振動は考慮しない。警察（交通規制課）にも行ったが、制限速度を下げるためには、震動が大変ということを出した方がいいとされたので、それを書いて要望した。</p>	<p>●膨大な数の要望が上がってくると思う。調査をして、一度に返事をするのが3月らしい。1件ずつ返事を出してくれればよいが、毎年3月頃に判明すると聞いている。</p>
9-3	<p>■この 1.5 kmの区間だけ 50 kmで両側が 40 kmというのは解せない。</p>	<p>●警察に話をしてみる。</p>
9-4	<p>■「歩道がしっかりしているから」と警察に言われた。</p>	
9-5	<p>■制限速度については、3月以降にわかるということか。</p>	<p>●毎年3月頃に県警からの回答があるそうです。回答を受け取り次第、自治会に連絡する。</p>
9-6	<p>■（県警の回答が）40 kmに変わっていなければ、県と市が交渉をしてくれるのか。</p>	<p>●市は要望という形で伝えるが、県がどのように考えるか難しい。 例えば、信号機の要望をしても設置されない。国も警察も予算を削っており、平成27年度に市内で設置された信号機は2箇所。昨年度も同じ程度と思う。他の自治会も困っていた。</p>

10-1	<p>■祝日のゴミ収集について 祝日で回収しない日がある。正月まで取れとは言わないが、夏も回収しない日があった。</p>	<p>●年に数回、祝日に集めない日があったと思うが、出来るだけ収集する考え方でいるので確認して返事する。【検討事項2】</p>
10-2	<p>■月曜日の祝日は回収してくれる。木曜日や金曜日が祝日の場合、次回となる。3連休の月曜日は回収してくれるので、まったく無いわけではない。</p>	
10-3	<p>■2回分のゴミを集めるのと毎週1回集めるのでは、仕事の平準化の点からも平準化の方が人件費が少なくてすむ。</p>	<p>●はい。</p>
11-1	<p>■みどり幼稚園の跡地について 先ほど話があったが、以前、初倉自治会長会で草刈り行ったとき、市の担当から、普通財産で用途が決まっていないので売りたいと聞いた。道の駅等の施設をつくる要望が様々な方面から出ているが、住民からすると、島田市は人口一人当たりの公園面積は少ないと聞いている。憩いの場、公園という意見も出ている。市として跡地利用をどのように考えているのか。</p>	<p>●行政が所有する土地は、現在使用している行政財産と使用目的を終えて普通財産に変えて売却も可となっている場所もある。 跡地を売ってしまうことは難しいと思う。民間が公共を担う時代でもあり、跡地を何に使用してもいいとして売ってしまうことは難しい。跡地は県道に接続する土地ではない。県道との間に民有地がある。民有地を買い、県道まで繋がる土地にした方が使い勝手が良いと考えた。しかし、市が民有地を買うためには、目的があり、全体を使用するために必要と議会に説明して予算を通してもらわなければならない。繋がっている方が使いやすいでは難しい。跡地は、県道に繋がっていないことを承知しながら、何に使うか決めれば考えていきたい。 公園が少ないことについて、街中の公園はそうだが、河川敷の運動公園を含めると、島田は県内でも公園が広いまち。各地域の中の小さな公園は少なくなってきている。跡地が公園になることで補えるか、地元の意見の一つとして検討する。</p>
11-2	<p>■何度か利用方法を提案しているが、その時の話で、跡地は初倉のへそ(中心)だから、何に使うにせよ有効に使ってほしい。道路脇の民有地の問題も含めて、道路側から入れるようにして有効な施設を検討されたい。</p>	<p>●有効活用したいという想いは同じ。何に使うか決まらなないと、道路に面した所を市が保有することは難しい。</p>

<p>11-3</p>	<p>■仮に道路側まで繋げたらこういう使い方ができるという提案でもいいのではないか。</p>	<p>●これからのまちづくりの中で考えていかなければならない。初倉の中心であるため考えていきたい。できるだけ早い機会に、跡地のことは今後どうするのか皆さんに話ができたらと思う。</p> <p>みどり幼稚園が何故移転したのかというと、地盤が弱くて高い建物が建てられないため。使い方にも制限がある。例えばホテルを建てることはできない。地盤補強をすればできるが、お金をかけてやるのは難しい。そのことを考えると、何を置くか、何でもできるわけではないという制限がある中で考えているところ。</p>
<p>12</p>	<p>■放課後児童クラブの指導員について</p> <p>初倉小学校と初倉南小学校と一緒に児童クラブを構成している。一昨年、初倉南小の指導員が全員辞めた。現在、初倉小の指導員がローテーションを組んでいる。</p> <p>初倉の児童クラブに限らず、市全体として指導員の成り手が無く、市担当課も苦慮している。働く時間が短く、報酬が安いと聞いている。初倉では、児童クラブを利用する児童が増えており、初倉南小は従来の場所から別の教室を改造した経緯があるので、指導員の採用の計画や方針を聞きたい。</p>	<p>●指導員の確保に困っていることは事実。</p> <p>勤務時間が14時から19時位までの5時間。本当に働く人はフルタイムで働きたい。給与は、無資格の方が時給900円、責任者は1,000円程度。周辺の自治体を参考に少しずつ上がっている。子どもがいる若い方には、19時まで働きにくい。一方、皆さんのような男性でもいいです。週1、2回でも子どもと遊んでくれる方がいれば、支援員として是非お願いしたい。</p> <p>児童クラブも変わり、平成29年度から全クラブで18時30分まで見ることにした。以前は、学校の中の教室を使っているところが18時まで、教室の外側に建っているところが18時30分までだった。19時までになると、指導員が帰るのが20時になる。子どもがいる指導員は、家に帰ってから食事というわけにはいかないので、夕方から新たなシフトで別の人を雇う必要があるので難しいところ。</p> <p>新聞報道によると、東京の児童クラブでは、日本語禁止で英語による人材育成をする民間会社が流行っている。児童クラブで預かる時間に教育をやるところもある。民間の需要に合わせて増えている。児童クラブに行くと塾に行けないという声も聞く。10年前にこれほど児童クラブのことを言わなかった。これまでは、小学1年生の約1割しか児童クラブに入らなかった。現在は3割。2年生、3年生と順次辞めて人数が減っていたが、今</p>

		<p>は3年生でも減らない。4年生でも継続する子どもが増えている。</p> <p>今は保育園の待機児童が大きな問題だが、後1年位で解決できる。しかし、放課後児童クラブの待機児童を解決するのが大変。六合では、高齢者の福祉施設が放課後児童クラブを始める。初倉では、保育園が放課後児童クラブをやる。幼稚園、保育園、高齢者施設にも放課後児童クラブの設置を呼びかけている。高齢者施設では、有料だが食事を出してくれる。これから色々な形態が出てくると思う。</p>
13	<p>■学校の蛇口からお茶が出ることについて</p> <p>以前、小学校の蛇口からお茶が出ることを初倉でもできないか話をしたが、フィルター等が大変で止める方向と聞いた。その後、島田の小学校では蛇口からお茶が出るのがニュースに出ていた。止めるのにニュースに出ていた。初倉ではお茶が出ない。全ての小学校で実施していることを宣伝してもらいたい。</p>	<p>●小中学校 25校のうち6校で実施している。</p> <p>何が問題かというと、毎日200リットルずつお茶を入れても、夏は飲むが冬は減らない。毎日業務員が1時間以上かけて清掃し滅菌処理しているが大変。モーターの音が教室近くで響く。蛇口からお茶が出るより、急須でお茶を入れられる方が先だという意見もある。色々なところで6校で止めている。今やっているところは設備もあるので、全部止めるわけにもいかない。計画的に増やしていくことはしていない。</p>
14	<p>■交通指導員について</p> <p>5年間毎朝、米久さんのところで立っている。パトロールの方から交通指導員をやらなかと誘われた。就労しているため、朝しか立つことができない。2度、パトロールの方が市に言ってくれたが、午前中(朝)だけではダメと断られた。3月で子どもが小学校を卒業するので毎朝立つことはなくなるかもしれないが、今後同じような人が出てきたとき、朝だけでもできるようにしてほしい。</p>	<p>●確認して回答する。【検討事項3】</p>
15-1	<p>■初倉地区の施設整備について</p> <p>藤枝駅南の武道館のような施設はできないのか。</p>	<p>●武道館は藤枝市のものではなく県のもの。</p>
15-2	<p>■県の学校をつくるとか、市の武道館をつくるとか。1万数千人住んでいるのに、こちらには初倉公民館しかない。人がたくさん来たりするものがない。例えば学校。学校ができて学生は税金を払わないので儲からないが。</p>	<p>●平成29年度、初倉地域をモデルとしてICTで人を呼び込む先進教育を藤枝市と連携していく。企業にもICT関連の企業を入れる。教育も特色ある教育をやりたい。初倉地域にALT(英語を話す先生)を多く配置したり、中学校と小学校は別担任だが、中学の先生が小学校を見るように兼</p>

		<p>務辞令を出して、英語等の授業については小学校においても中学校の英語の先生の授業が受けられる。小学校の高学年になれば担任制ではなく、教科担任制（中学校のように各教科で先生が別）にできないか等の新たな付加価値のある特色ある教育について、初倉地域をモデル地域としていきたい。</p>
16	<p>■公衆無線LANについて 初倉公民館には公衆無線LANが入っている。図書館等の施設に入っているのか。</p>	<p>●公共施設には公衆無線LAN整備をしている。 川根や市内北部に光ファイバーを引く予算を付けた。 新しいところで、島田市は再生可能エネルギーの先進地。県内一、再生可能エネルギーの比率が高い。今月、川根温泉のメタンガスを使って発電する全国初の鉱山採掘権を取ることになっている。採掘権を取ることで、温泉の6割強の電力を賄う。全国から視察団が来ると思う。</p>

※ 回答は全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤検討事項に対する対応（報告）

質疑応答番号 検討事項番号	検討内容（市長の発言）	市からの回答（対応状況）
2 検討事項 1	●交通指導員の成り手が少ないなか、月 6,500 円はどうかと思うので検討をさせていただきます。	<p>■交通指導員の報酬額については、平成17年島田市と金谷町合併時と平成20年島田市と川根町合併時の擦り合わせの際に月額 6,500円に統一した経緯があります。</p> <p>他市の状況を見ると藤枝市、静岡市は完全にボランティアで報酬なしとしており、市によって状況は様々であります。島田市の報酬は他市と比較してみても、低すぎる報酬ではないとの認識ですが、この度いただきました意見については、今後、検討してまいりたいと考えています。</p>
10-1 10-2 検討事項 2	●年に数回、祝日に集めない日があったと思うが、出来るだけ収集する考え方でいるので確認して返事する。	<p>■可燃ごみの祝祭日における収集については、平成29年度から月曜日、火曜日、木曜日、金曜日が祝祭日の場合、年始を除いて収集するよう計画しています。今年3月には、各家庭に「平成29年度ごみ収集カレンダー」を配布させていただきますので、御確認いただきたいと思います。</p>
14 検討事項 3	●確認して回答する。	<p>■交通指導員については、市役所（事務局）からは週 2 回以上朝での交差点での指導をお願いしています。</p> <p>53人の現指導員のなかには、仕事をしながら朝、活動していただいている指導員の方も居ることから決してダメということはありません。ただ、指導員としての研修会、総会、定例会も夜間にあることから、その会合にも出席していただきたいという意向が上手く伝わらなかったのかもしれませんが。</p> <p>是非、交通指導員として活動に御協力いただきたいと思います。</p>